

海岸、低湿地と水郷

河北潟の周辺は、かつては舟の通る水路（舟入川）がはりめぐらされた水郷でした。河口域にはヨシ原がひろがりました。内灘砂丘は独特の自然要素でした。今では多様な水辺は少なくなりましたが、場所によっては昔の水郷の面影がみられます。



舟入川 昔、河北潟の周辺は水路が張り巡らされ、小さな舟が行き来していました。木越地区を流れる馬渡川やいくつかの水路は、昔の面影を残しています。アオサギが餌をとることのできる数少ない水路です。



平原のタカ、チョウゲンボウ



水郷のおもかげのある農地 かつて水路沿いには稲を干すハザ木がたくさんありました。河北潟の南部はいくつかの川が集まる低い土地で、湿地が多くみられました。今でも素堀の水路など昔のおもかげが残っています。（写真左：大浦町 右：千木町）



河北潟 ギンブナなどの淡水魚類の重要な生息場所であるとともに、猛禽類のミサゴの餌場です。河口の砂州は重要な野鳥の休息場所です。



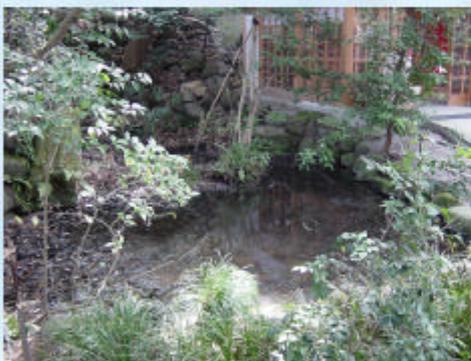
干拓地 河北潟干拓地は、近年の大規模干拓によってつくられた新しい農地ですが、本州の平地では珍しい広い草原ともなっています。渡り鳥や猛禽類のチュウヒやチョウゲンボウ、ノスリなどの生息環境として全国的にも有名です。干拓地の背後は内灘砂丘になっています。



河口 金腐川の河口は、砂州がのびて自然に近い河口となっています。ヨシ原やヤナギの低木林がみられ、水辺ではカイツブリが生息します。

市街地の中の自然

市街地化が進む金沢ですが、平野部に残る重要な森林から、自然度の高い水辺、身近な小さな緑地まで、よくみる中で心安らぐ空間が身近な場所にあることは、豊かな生活をおくる上で重要です。



わき水 金沢にはかつては多くのわき水がありました。寺町台地などの斜面からわく泉と、手取川扇状地の端など平野部からわく泉の2つのタイプがありました。今ではあまりみられなくなりました。（写真は石浦神社のわき水。かつては滝のようにわいていた）



金沢城にすむタカチホヘビ



斜面林 小立野台地や寺町台地の斜面には、照葉樹の大木を含む自然度の高い林がみられます。野鳥も多く、杜の都金沢を代表する自然です。



用水路 金沢の街の中には毎月用水、大野庄用水など至る所に用水が流れ、昔から人々の生活に利用されてきました。今後生きものへ配慮した改修が望まれますが、市街地でもホテルが観察できるのは、これら用水路のおかげです。アユやウグイがみられることもあります。



広い河川敷 犀川若宮大橋の下流部は、市街地に近いところにありますが、中州や石ころの河原、河畔林など多様な川の要素をみることが出来ます。カモ類やサギ類が餌をとったり、翼を休めている姿もよく見かけられます。河原の一部が広いままで残されているからです。



合流点 高橋川と伏見川の合流点には砂れきが堆積し、サギやカモ類など野鳥が常時みられます。11月頃にはシロザケが遡上します。

、複雑な中州と湿田といった多様な水の姿があり
互影をみることができます。



砂丘と海岸林 砂丘のニセアカシヤ林の林床には春、ハマダイコンのお花畑がひろがります。犀川河口の普正寺の森は、渡り鳥の重要な中継地となっています。砂浜にはハマナスなどの海浜性の植物が自生しています。シロチドリの営巣環境にもなっています。



用水路と休耕地 いくつかの農業用水路には、アサザやトチカガミなどが残っています。休耕地には、フトイやクログワイなどの湿地性の植物が生育しています。水を張ってあるハス田の休耕地は、シギ・チドリ類の格好の渡りの中継地となっています。

といろいろな自然が残っています。忙しい日常の



金沢城公園・社寺林 金沢城公園の森やいくつかの社寺林は、照葉樹の残る貴重な場所です。こうした市街地の中の自然度の高い緑地は山と海岸林を結ぶ、鳥たちの重要な「飛び石ビオトープ」にもなっています。(写真左：金沢城公園 右：大野湊神社)



残された農地 市街地にも、点々と素堀の水路や田畑がみられます。騒がしい市街地の中での市民の憩いのスポットです。田んぼのあぜでアマガエルを見つれたり、子供たちが学校帰りに生きものにふれることのできる貴重な場所です。

金沢市とその周辺の地域は、大きく分けると南から東にかけての山地帯と北から西にかけての平野部になります。

平野部は①海側の水田地帯と河北潟・内灘砂丘と、②山に近い部分の市街地に、山地帯は③北東部のなだらかな丘陵の里山と、④南側の白山山系につながる急峻な里山とに分けることができます。

おすすめ SPOT

身近な自然の中を、自由にゆっくりと散策できる場所を6つご紹介します。

おすすめ1：健民海浜公園普正寺の森



クロマツ、ニセアカシヤなどの海岸林が砂丘地に拡がります。日本海側のまとまった林は、渡り鳥の重要な中継地になっており、一年を通じて数多くの野鳥をみることができます。

おすすめ2：金沢城公園の森



スダジイやモミなどの巨木のある豊かな森です。歴史ある城壁はヘビや陸鳥のみすみかです。森の中の小さな池はモリアオガエルの産卵場所です。タヌキやフクロウも生息しています。市街地の中心に残る、貴重なビオトープです。



おすすめ3：夕日寺自然園

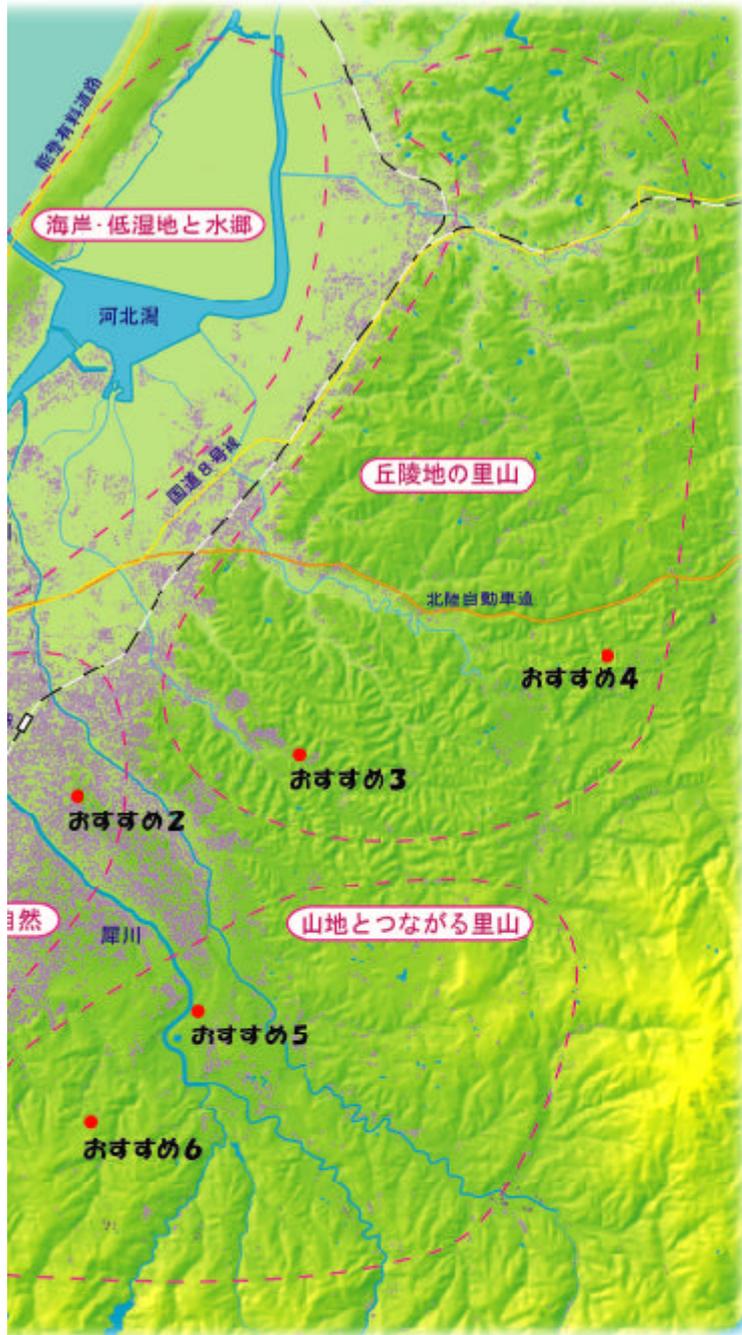
コナラやアベマキの雑木林の中に水草の生育する池や湿地があります。トンボサンクチュアリや周辺の里山を自由に散策できます。ゲンジボタルやヘイケボタルもみられます。オオムラサキが保全されています。



おすすめ4：東原ミズバショウ群落

ミズバショウの自然の生育地として保全されています。湿地内には散策路が設けられていて、ゆっくりと観賞することができます。周辺には水田や斜面林もあって、水の中の生きものと森の中の生きものをみることができます。





金沢の北東部から津幡町にかけての里山は、なだらかな地形です。またこれらの支流の谷には谷内田（やちだ）があります。



谷内田 両側を斜面林に囲まれた谷内田は水と森の空間です。両生類や水生昆虫など陸と水を必要とする生きものたちのゆりかごです。小鳥類も多く生息します。自然と人がつくりあげた豊かな生態系です。



谷内田のモリアオガエル



川沿いの集落 狭い平地の集落は山に囲まれることが多く、の間に、まとまった集落が形成されています。



用水路の小川 きれいな流れの小川が流れることによって、様々な生き物や、小型のゲンゴウなどの生息場所となつています。

金沢市南部の里山は、白山山系からのつながりのある豊かな水に恵まれ、ゆるやかな尾根と深い谷の起伏のある地形です。



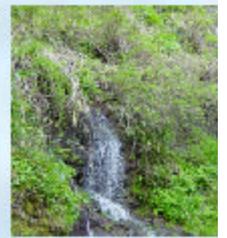
山地の中の集落 山地の中の集落には、人の営みがつくる整然とした美しさを感じられます。集落の脇を流れる用水路の流れははやく、水質は澄んでいます。裏山の雑木林にはキツネやタヌキもすんでいます。



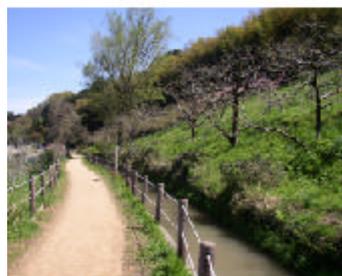
山から降りてきたカモシカ



斜面の棚田 傾斜が大きく、幾何学みごとな風景です。農家の方々のおかげで美しい景観が残されています。



雪解け水と溪流 豊富な溪流が多く美しい谷を形成します。ウオ、タゴガエル、ヘビトンボなどの生き物が生息しています。



おすすめ5：辰巳用水散策路

浅野川と犀川の間を流れる辰巳用水は、上辰巳町の犀川右岸で取水され兼六園までつながっています。遊歩道もあり、ゲンジボタルが土清水から錦町にかけてたくさんみられます。周辺ではハイケボタルもみられます。



おすすめ6：平栗自然環境保全区域

雑木林が程良く管理されているため、春にはカタクリをはじめとする里山の草花が見事に咲き誇ります。人が利用していた頃の里山の姿が保全されています。バードウォッチングのできる散策路も整備されています。

丘陵地の里山

丘陵地に位置しています。丘陵が削られてできたあまり深くない谷と河川沿いの狭い平野部に集落が発達して見られます。谷内田の一番上部は、沢の水を入れるため池になっています。



川沿いのすそに位集落と川の水田がつ



丘陵地の利用 丘陵の上にもいくつかの集落がみられ、集落の周りの低い場所は水田として、緩斜面や丘は畑や果樹園として利用されている場合をみかけます。乾燥してひらけた場所に、春、オオタチツボスミレやトキワイカリソウが咲いているのをみかけます。



湿地 丘陵地の窪地には湿地や池が散在します。古くからあまり環境が変わらない、希少な水草や水生昆虫の生息場所です。



ミサゴ 丘陵地の大きな木の上に営巣するタカです。遠く離れた東河北潟を餌場としていて、魚を捕らえます。河口と丘陵を結ぶ鳥です。



丘くの沢から水を引くための用水路はゆこなっています。人の手で毎年掘り起こ維持されている環境です。トビケラの幼ロウ、オニヤンマやシオカラトンボのヤぶっています。



ため池 丘陵地の里山には、ため池が多くみられます。水草やゲンゴロウのビオトープです。クロサンショウウオも産卵します。



小規模の河川 丘陵地の谷間を比較的短く、水量があまり多くない川が流れています。流域には、小さな水田やハス田、竹林など多様な環境がみられます。ホタルも多く発生します。人工化されていない水辺はカエル類やヘビ類の冬眠場所ともなっています。



山地とつながる里山

傾斜地です。背後に大きな山岳を抱えていることから、森林の要素が強い環境と生物相となっています。豊かな地形、さらに奥の山地帯とのつながりを感じさせる自然です。



るやかな斜面を利用した棚田は、比較的段的でありながら地形と絶妙につりあった放棄されている場所も多く残念ですが、で、よく手入れされた田んぼでは、すば



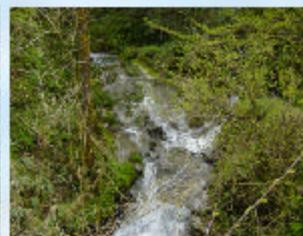
石垣の利用 犀川中流部の川沿いの平地は水田になっています。段差はあまりなく、畦には石垣が使われていることがあります。



コナラなどの雑木林 雑木林にはコナラ、アベマキの森が目立ちます。良く管理された林床には、カタクリやヒメカンアオイなどがみられます。春にはギフチョウの舞う姿がみられます。スギなどの人工林に比べ、多様な生物が生息しています。



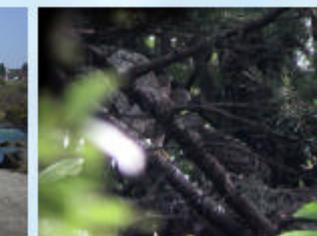
雪解け水を集めて、清らかで水量の豊れられます。だんだんと水を集めて徐々に深みダサンショウウオやハコネサンショウカワゲラ類、カゲロウ類、トビケラ類、みかです。



渓谷 いくつかの支流が集まり、深く切れ込んだ渓谷となっています。ヤマセミが横穴の巣をつくったり、斜面林でサシバが営巣します。



山地とつながる川 山地と平野部との接点にある川は、斜面林と河畔林がつながる場所、渡りの途中で野鳥がよく利用します。



オオタカ 巣立ち間近のオオタカ幼鳥2羽。豊かな里山には餌となる動物も多く、オオタカのすむ森は一番最初に保全したい場所です。